

プロポーザル方式における特定結果書

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1 業務名 | 東予港整備効果検証業務 |
| 2 所属事務所 | 松山港湾・空港整備事務所 |
| 3 方式(〇〇型プロポーザル方式) | 簡易公募型プロポーザル方式 |
| 4 技術提案書の提出要請日または選定通知日 | 令和7年6月20日 |
| 4 公示日 | 令和7年5月28日 |
| 5 特定通知日 | 令和7年8月1日 |

技術提案書提出者	特定の有無	特定されなかった理由
(株)エコー	○	

プロポーザル評価表

1. 件名

東予港整備効果検証業務
2. 所属事務所

松山港湾・空港整備事務所
3. 技術提案書の特定通知日

令和7年8月1日

業 者 名		技術評価点の内訳				技術評価点 合計	備考
		配置予定技術者の 資格及び実績等	配置予定技術者の 成績及び表彰	特定テーマ			
				特定テーマ1	特定テーマ2		
	評価のウェイト	20	30	170		220	
(株)エコー		20	24	170		214	特定

公募型・簡易公募型プロポーザル方式における選定結果書

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1 業務名 | 東予港整備効果検証業務 |
| 2 所属事務所 | 松山港湾・空港整備事務所 |
| 3 方式(〇〇型プロポーザル方式) | 簡易公募型プロポーザル方式 |
| 4 公示日 | 令和7年5月28日 |
| 5 選定通知日 | 令和7年6月20日 |

参加表明書提出者	選定の有無	選定されなかった理由
(株)エコー	○	

【令和7年度 簡易公募型プロポーザル方式業者選定資料】

予算区分		港湾	
件名	東予港整備効果検証業務		
業務概要・数量	<p>本業務は、東予港中央地区航路(−7.5m)の整備効果について現地調査結果等を踏まえた検証を行うとともに、中長期的な航路機能確保に係る対策の検討を行うものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画準備 1式 ・成果物 1式 ・現地調査 1式 ・資料収集整理 1式 ・整備効果検証 1式 ・有識者意見聴取 1式 ・協議・報告 1式 		
	業務区分	業務の等級	発注形態
	建設コンサルタント等	A	単体 設計共同体
技術提案書のヒアリング実施日	入札予定日	履行期間	
令和7年7月16日～17日	令和7年8月28日	令和8年2月27日	
<div> <div> <p>ランク：建設コンサルタント等 A等級</p> <p>契約形態：簡易公募型プロポーザル方式</p> <p>企業の同種業務実績：以下の①及び②を実施した業務（①、②は別件業務で可） ①航路または泊地（漁港施設除く）を対象とした埋没対策の検討を行った業務 ②海域において採泥を行い、採泥試料を用いて分析・試験を実施した業務</p> <p>企業の同種業務実績：設定しない</p> </div> <div> <p>技術者の資格： ・技術士（総合技術監理部門（建設）又は建設部門） ・博士（業務に該当する分野） ・APECエンジニア（業務に該当する分野） ・土木学会特別上級土木技術者、土木学会上級土木技術者又は土木学会1級土木技術者 ・RCCM（港湾及び空港部門）又は同等の能力を有する者（技術士部門と同様の部門に限る。）。 但し、港湾関係の実務経験が3年以上ある者 ・発注者が上記と同等であると認めた者</p> </div> </div>			
<p>特定テーマ：特記仕様書5-5. 2)に示す航路整備（土砂堆積対策）の効果について定量的な評価を 技術者の同種業務実績：航路または泊地（漁港施設除く）を対象とした埋没対策の検討を行った業務 行うにあたっての課題、着眼点及び解決方法について 技術者の類似業務実績：設定しない</p>			

[illegible]